校長室から **ひがしなら通心**

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２８

平成３０年９月１８日（火）発行

東奈良地区敬老会より

９月１６日（日）、本校体育館において、第３６回東奈良地区敬老会・金婚祝賀会が行われました。本校からは、代表として６年生の髙橋さんと吉富さんが参加してくれ、作文を朗読してくれました。ここに紹介します。

私は、地域の人達に、とても感謝しています。

私は、低学年のとき、 学校だるいな、行きたくないなと思いながら、学校に向かっていました。けれど、途中の地域の方々のあいさつや、交通安全見守り隊の方々の励ましがあり、今では学校に行くのが楽しみなぐらいです。その出来事から私は、あいさつがとても大切だということが深くわかりました。ほかにも、あいさつを私からすると、快く返してくれたり、相談をすると、アドバイスをしてくれます。そのほかにも、雨の日にまでも交通安全見守り隊の方々は立って、私たちの安全を守ってくれていて、私も学校や、習い事をがんばろう、と思っています。

私が一番気にかけていることは、地域の人たちや、交通安全見守り隊の方々の体のことです。私たちを見守るために病気になってしまうと元も子もなくなってしまうので、無理だけはしてほしくないです。私は、小さいころは人見知りで、地域の人達ともあいさつをしない子だったけど、あいさつによって、地域の人達とのかかわり方がこんなにも変わるんだなと思いました。積極的にあいさつをしてくださった、地域の人達、交通安全見守り隊の方々、あいさつをしようと朝会で何度も言ってくれた校長先生など、私にかかわってくださる方々すべてに感謝しています。

いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

児童代表　髙橋　優衣

私は、地域の人達に、とてもお世話になりました。

この前の台風２１号の時、暴風警報が発令されている事に一家全員気付かず、ふつうなら遅刻してしまう７時３５分という時間に起きた私は、時計を見てびっくりして、あわてて学校に向かいました。集合場所に行っても、その日は学校は休みなので、もちろん誰もいませんでした。でも私は、時間に遅れただけだと思いこんで、急いで学校に向かいました。道中では、交通安全見守り隊の人もいなくて、私は、自分は今、だいぶ深刻な遅刻をしているんだとさらに思いこみに拍車がかかって、余計足を速めました。だいぶ学校に近づいていくと、一人、交通安全見守り隊の人が立ってくれていて、その人を見つけた時の安心感はというと、もう、筆舌につくしがたいものでした。

私があいさつをすると、その人は困惑した表情で、今日、学校ないよと教えてくれました。その一言で私は、月まで飛べそうなほどの衝撃を受けました。でもそれなら、道中、私が感じた白い視線にも納得がいくな、と思いました。でも、あの時、あの人が親切心で立っていてくれなければ、私はたぶん気付かずに学校に行っていたと思います。私は、警報を知らずに外に出たけれど、交通安全見守り隊の人は、警報が発令されていると知っていて、危ないのが分かっているのに、誰かが学校にまちがえて来てしまうかもしれない、それだけの理由で、朝早くから立ってくれているなんて、私にはできないし、しようと思わないと思います。おかげで私は、学校まで行かずに済んだし、学校の正門の前で呆然と立ちすくむ事もありませんでした。感謝としか言いようがありません。

私は、これからも、関わってくださるまわりの方々への感謝の気持ちを忘れず、残りの小学校生活を楽しみたいです。

児童代表　吉冨　湖夏

第２部の余興（よきょう）では、高美幼稚園の園児達が高美太鼓を披露してくれ、かわいい声でお祝の言葉を言ってくれました。